

ソーシャルマップと連動したコミュニケーションアプリ「Zenly」 ユーザー同士で自宅にいる時間の長さを競い合おう！ 「自宅滞在チャレンジ」機能を全世界同時リリース

Zenly社（本社：フランス、パリ）は、ソーシャルマップと連動したコミュニケーションアプリ「Zenly」において、在宅の時間も楽しんでもらいたいとの思いから、ユーザー同士の自宅で過ごしている時間が確認できる新機能「自宅滞在チャレンジ」を全世界で同時にリリースしました。



現在、新型コロナウイルスの感染症拡大は全世界のコミュニティに影響を与え、日本でも在宅勤務や一斉休校により、外出を自粛し自宅で過ごす時間が増えてきています。そこで、現在の拡散状況が一目でわかる機能「コロナウイルス・レンズ」に続き、長引く在宅生活による精神的な影響も懸念されるなかで、人とのつながりを感じながら楽しく困難な状況を乗り越えてほしいとの思いから、Zenlyは新機能「自宅滞在チャレンジ」をリリースしました。従来は友達がマップ上で動く様子を共有する本アプリですが、この状況を受け、外出を控えることに逆に誇りを感じられるような機能を追加することで、身近にいる大切な人を守る役割を果たしたいと考えました。

この度新しくリリースした「自宅滞在チャレンジ」は、自分とアプリ上でつながっているユーザーがどれだけの時間自宅に滞在していたのかが確認できる機能で、ユーザー間の自宅待機時間を反映したデータがランキング形式で表示されます。本機能は、学生はどれだけ長く自宅で過ごしたかを友達とゲーム感覚で競う耐久レースとして、会社員は同僚と在宅勤務時間を共有することで孤独感をやわらげ、仕事へのモチベーションにつなげるコミュニケーションツールとして使うことができます。また、この「自宅滞在チャレンジ」のランキングを他のSNS上でシェアすることで、自身がどれだけ自宅で過ごしているのかを気軽に発信することができます。このほかにも、WHO（世界保健機関）が公開する感染予防対策方法をアプリ上で表示し、他のSNS上でシェアできる機能も同時に提供しています。

「自宅滞在チャレンジ」機能とは：

- ・ 自分がいま、どのぐらいの時間継続的に自宅に滞在しているのかを表示
- ・ 自分が1日のうち、どのぐらいの時間自宅に滞在しているのかをパーセンテージで表示
- ・ 友達のなかで誰が一番長く自宅に滞在しているのかを、過去3日間のデータをもとにランキング形式で表示
- ・ WHO（世界保健機関）が推奨するコロナウイルス感染予防対策方法を表示
- ・ 自身のデータやランキング、予防対策方法が表示された画面をLINE、Instagram、Twitterなど他のSNS上でシェアが可能

■ Zenlyの新型コロナウイルス対策への取り組みについて

ZenlyではWHOが推奨する「人との接触距離を適切に保つべき」という衛生の観点から、友達と一緒にいることを共通の友達へ知らせる「バンプ機能」を現在一時的に停止しています。それに加え、先日リリースした全世界の感染者数と回復者数を表示させ、新型コロナウイルスの最新の拡散状況を提供する「コロナウイルス・レンズ」や、今回リリースした「自宅滞在チャレンジ」機能など、Zenlyはアプリを通じて感染拡大を防止するための取り組みを進めております。

当社はこれからも、ユーザーのみなさまの安全を第一に考え、友人や家族とのつながりを感じながら、感染拡大防止に少しでも貢献できることを願っています。



■ 「コロナウイルス・レンズ」について

「コロナウイルス・レンズ」とは、Zenlyのマップ上に全世界の新型コロナウイルス感染者数と回復者数が表示される機能です。新型コロナウイルスの急激な感染拡大に伴いさまざまな情報が飛び交うなかで、最新情報を一目で確認し、正しい理解を促すことを目的としています。

※ 詳細は以下プレスリリースをご確認ください。

[「ソーシャルマップと連動したコミュニケーションアプリ「Zenly」全世界の新型コロナウイルス拡散状況が一目でわかる「コロナウイルス・レンズ」機能をリリース」](#)



■ 「Zenly」とは？

Zenlyは、友達や家族の様子を教えてくれる地図情報を用いた無料のコミュニケーションアプリで、世界中で毎日数百万人ものユーザーが使っています。親しい人たちの繋がりをベースにしたこのマップを使えば、たとえ離れた場所においてもみんなとの距離が縮まります。

- ・ 公式Webサイト : <https://zen.ly/>
- ・ iOS版アプリ : <https://apple.co/33m4U0t>
- ・ Android版アプリ : <https://play.google.com/store/apps/details?id=app.zenly.locator&hl=ja>